

6月の生活表

2024年 6月

聖マリア幼稚園

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

月主題：みつける

保育日数（21日）

月目標：＜3歳児＞

- ・保育者と祈り、賛美する生活を通して、神様の存在を知る
- ・自分の思いを言葉だけでなく笑ったり泣いたりして表情や姿でもあらわす
- ・身近な自然に関心を持ち、よく見たり、触れたり、拾ったり、見せ合ったりする

＜4・5歳児＞

- ・嬉しい時も悲しい時も共にいてくださる神様に感謝し、礼拝の時を喜ぶ
- ・友だちと一緒に楽しみ満足感を感じる
- ・園内外の自然に触れ、気候の変化を感じ、開放感を味わう

晴天が続き、爽やかな風が新緑を揺らし、本当に青葉光る美しい毎日が続いていますね。沖縄の方では梅雨入り宣言もあり、第1号台風も接近している模様。そろそろ梅雨の季節を迎える頃となりました。子どもたちの大好きな外遊びがお天気により制限されてしまいます。でもこれも致し方ないことです。日本に四季があってこそ私たちの営みが保証されているのですから。恵の雨も大切に。

さて、子どもたちは「遊び」から学ぶとされていますが、どんな風に何を学ぶのでしょうか。私たちの幼稚園では、朝の登園からまず自分の遊びたいものとの出会いにより、遊びが始まります。お友だちとの関係でその遊びが深められ、また変更されることもありますね。しかし、遊び込んでいる時に見られる姿は、発見・気づき・興味関心・挑戦・試行錯誤・意欲・集中力・工夫などが体得され、非認知能力とともに認知能力が育まれ、それが小学校への学習に繋がるとされています。小学校では教科書がありますから親は何を学んでいるのかが解ります。しかし、幼稚園は教科書はなく、遊びを通しての学びですから遊んでいる間に学ぶこと？という状態ですね。この園での保育方法は、朝や午後からの自ら選ぶ「自由遊び」の自由保育と共に、一斉に投げかけられた課題に取り組む「設定保育」があります。その設定の中では、一人一人のお子さんの自由遊びの中では捉えきれない「育ち」を確認し、成長の時を捉える為に、そのお子さんに合った投げかけをしたり友だちのすることをみんなの中で確認し合ったりしています。また幼稚園教育要領（先生の教科書）に示されている内容を総合的に捉え、子どもたちの生活を通しての経験が生かされるようにという時間を持っています。各々の経験をみんなのものとしていく為に「設定保育」は大切なですね。そして、子ども家庭庁の発足では0歳から18歳までが重要であると捉えられています。更にその中でも、生後100ヶ月までの大切さがクローズアップされています。それはとりも直さず、8歳頃までということは、乳幼児期から児童期に繋がれているという重要な時期として捉えられています。それが人生の根幹にあたるものとして、人生の大切な成長の時とされ、「幼・保・こ」と小学校の繋がりが見直されて来いています。幼小接続の大切さが問われている中で、幼小連携はモデル校のみで模索が続いていますが、京都市も来年度より全市の小学校で義務付けられ、その地域にある園との繋がりを持つことになりました。小学校の先生が幼稚園を学び、それにより子どもの遊びが、どのように学習に繋がっているのか、既に子どもたちが就学前に各々の経験をしているから、教育は小学校が最初ではないということを小学校の先生たちが確認し、ことばかけ一つでも考えていこうというもののなのです。その為のカリキュラム作成も進められていますが、まだまだ真の連携には至らないのでは？ 幼稚園と小学校がどのように繋がり、子どもたちのスムーズな移行が担保出来るのか、私たちは接続を考えながら今後の動向を注視していきます。

《チャレンコーナー》

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

年聖句：わたしは道であり、真理であり、命である。

月聖句：見よ、それは極めて良かった。（旧約聖書 創世記 1：31）

今月の主題聖句は、世界の初めに、神様がすべての物を創られた時の物語に記されている言葉です。聖書によると、神様は6日間ですべての物を創り、7日目に休まれました。これが1週間のサイクルのもとになっているということです。創造物語や「進化論」などは、キリスト教「原理主義」と呼ばれるグループを始め、多方面で話題多く、議論の尽きないものではありませんが、私は、これは「客観的事実」を記したものではなくて、物事に秘められた意味、すなわち「真実」を記したものと考えています。今から何百年も昔の人々とは言え、世界の全てが24時間×6日で創られたとは、考えていなかったと思います。ただ、神様を信じる人々にとっては、この世界は決して偶然に発生した無機質なものではなく、神様によって創られた、意味のあるものだと考えていたのです。そしてその意味が、「見よ、それは極めて良かった」、つまり、この世界は元来「良いもの」として創られた、というものです。動植物も、気候や環境も、元々調和のとれた、素晴らしいものとして創られたのだから、大事にしていかなければならない、という教えに結実していく考え方なのだと思います。もちろん、人間も神様に創られたものとして、良いものです。それも「極めて」良いものなのです。お互いに大切にし合い、共に支え合い助け合って生きていくことが、人間の本来のあり方なのだと、聖書は教えてくれています。

毎朝、お花を摘んで登園してくるお友達がいます。その小さな手に握られたお花は可憐で可愛く、お花を持ったお友達の顔は、優しく美しいです。神様は本当に素晴らしいものとして、世界を造ってくださいました。神様に感謝して、すべてのものを大切にして、生きていきたいと思っています。

おたんじょうび おめでとうございます

6月生まれのおともだちはありません

<生活指導>

♥ 梅雨時の健康には十分気をつけましょう。

- ・気温の変化に注意し、水分・塩分補給で熱中症を予防しましょう。
- ・汗をかいたら自分で拭けるように、ハンカチをお持たせください。
- ・帰宅後の手洗い、うがいがしっかり出来るように習慣付けましょう。
- ・お風呂（シャワー）・シャンプー・耳垢・爪切りなど、清潔に保つ習慣を心がけましょう。

♥ 自分で出来ることには、その意識を持たせて、自分でさせるようにしましょう。

- ・それぞれの子どもに合わせた身辺自立を心がけましょう。
- ・持ち物が多い時は、その持ち方が工夫できるような方法を教えてあげましょう。
- ・雨具が自分でたためるように練習をしましょう。
- ・大便の後始末が出来るように、また紙の使い方もご家庭で教えてあげてください。
(特に女子は、菌が入らないように拭き方に気をつけましょう。)

♥ 母の日や父の日を通して、身近な人たちの事を考えてみましょう。

- ・家族の名前・人数・年齢・仕事などを知らせ、みんなの働きによって日々の生活が成り立っている事を知らせましょう。
- ・家庭内でのお手伝いをさせましょう。

お手伝いは、子どもに物事の流れを体得させ、段取りがつかめるようになると共に周りにも目が向けられるようになり、家族の一員である自覚の芽生えですね。

♥ 朝の準備

- ・就寝前の明日への準備、起床後の準備はスムーズですか。着替え・お手洗い（トイレ）・洗顔・食事・鞆を持って出かける。子ども自身で、前もっての準備が心がけられますように。(=曜日の感覚・時系列、それぞれに伴う内容把握に繋がります。)
- ・登園前のテレビ・食事中的テレビは消しましょう。食事中的の楽しい会話を弾ませ・味覚を感じ・明日の予定を確かめるetc.一日の振り返りと共に、感謝や反省など話題を豊富にし、さらには決められた時間に登園できるように心がけましょう。
- ・身なり（靴下をのばす、髪を束ねる、シャツを入れるなど）を整えましょう。

♥ 交通規則を守らせましょう。（子どもと一緒に確認）

- ・幼稚園にも馴れて来たこの時期、危険に対する自覚を持たせましょう。

- ・信号の確認・一旦停止・左右確認・飛び出し(降園時園庭から)禁止など習慣付けてください。
- ・横断は必ず横断歩道を渡り、歩く時は手を繋ぎ、子どもは中側を歩かせましょう。
(どこかで繋がっててください。服を持つ・ベビーカーを持つなど)
- ・自転車との接触、追突などが起らないように、周りに目を向けましょう。また大人は、予期せぬ事故が起こりうることをいつも頭の片隅に入れておきましょう。

【クラスだより】

＜花組＞

梅雨入り間近の晴れ間は何とも気持ちよく園庭遊びも時間を忘れてしまいます。何度も螺旋滑り台を楽しむ姿、初めて螺旋滑り台に誘ったときは階段を一段一段慎重に不安と期待が入り混じったような表情で手すり先生の手をぎゅっと握りしめ...やっと上にたどり着きました！すると、園庭や平安神宮の緑を見渡せて「うわ～」という感動の様な表情に早変わり、園庭のお友だちや先生に「ヤッホー」と声を掛けてもらったら途端に笑顔が溢れて...ほんの数分の間にコロコロと表情の変わる可愛い子どもです。そんな子どもたちが、次はどんな表情で、どんな思いで動き出さそう...次はどんな経験をさせてあげようか、どんなことに興味関心を持ち、関わっていくのだろうか。13名の子どもたちそれぞれの育ちがあり、それぞれの楽しみ方や喜び方がある、それぞれに必要な援助・言葉は何だろう。どうすれば子どもたちの持つ様々な力を引き出せるのだろうか。それぞれの子どもたちに寄り添って、個々の思いに心を留める。そして、ひとりひとり13名が集まって花組になっている時には、集団の中で不安や戸惑いを抱きながらも自分以外の他者（お友だち）の存在に目を向け、1人より2人、そしてみんな！で過ごす集団生活が何か楽しいな～、何か面白いな～とすることが出来るように、そんな思いを積み重ねていってあげられるように、と考えています。

入園から2か月、それぞれの成長がありました。ついこの間まで、〇〇ちゃんが〇〇しているから...と同じ遊びをはじめる。みんながお庭にいくなら...と何となく一緒にお庭に出て行く。遊びはじめれば、最初のきっかけはどうであれ楽しくなり、しっかりと遊びに夢中になっているのですが。「今日は、〇〇ちゃん（自分のこと）〇〇で遊ぶ～」や、お庭に出て行くお友だちの姿を見ながら、「今日は、pre-preちゃんの〇〇ちゃんとレゴで遊んでお家作ってあげるからお部屋にいるの！」と、やりたい遊びを見つける。やりたい遊びを自分で決めて、自ら動き出す！そんな主体的な姿が見られようになってきた子どもたちもあります。そんな一方で、遊びをなかなか定められずに迷う姿も見られます。好きな遊び、面白そうな遊びを幼稚園で色々知ったことで、遊びを一つに選ぶことに時間が掛る...そんな姿もありますが、それも大切な迷いであり、そんな時、先生やお友だちの遊ぶ姿や話す言葉を頼りにして、誰かの遊びに関わってゆく（入っていく）というのも集団生活ならではの経験です。

季節は、梅雨から夏へと移ろいゆきます。梅雨には、どんなものに目を向け、楽しみ

を見つけるのか。梅雨ならではの生き物や自然に関心を抱き、沢山の気づきを子どもたちと共有してゆきたいです。そして、夏を感じ始めたら、更に心明るく身体が動き出して…。どんな表情を見せてくれるのでしょうか。四季折々の自然を与えて下さる神さまに感謝しながら子どもたちと一日一日を大切に過ごしてゆきたいと思います。

まだまだ寒暖差や季節ならではのアレルギー症状にお困りの方々も多くおられますが、体調管理には呉々もお気を付けくださり、ご家族も元気よく！子どもたちは「きょうのおやすみはありません！ぜんいんしゅっせきです！」と笑顔で拍手できる日が一日でも多くありますように。

＜赤組＞

「暑いね～」と言葉を交わすくらい、晴天が多かった5月。そんな眩しい太陽に負けないくらいの笑顔を輝かせ、毎日思い切り遊ぶ子どもたちです。クラス便りや降園時などでも園庭で遊んでいることはお伝えしていることと思いますが、きっと、1階の保育室になり園庭にすぐ出やすくなったこともあるでしょう、晴れている日は毎日園庭へ飛び出します。「ダンゴムシさがそ～」と子どもたちから大人気のダンゴムシ！見つけて手に乗せていても動き回って「こしょばい～！落ちちゃった」と大騒ぎ。カップやバケツに入れてあげることを提案しましたが、気がつくとも30匹ほどのダンゴムシを見つけていたお友だちもいました！赤組さんたちで探していると、去年に経験をしている緑組さんは「暗い湿ったところにいるんやで」と場所を教えてくれたり、「お家にしてあげるために落ち葉とか土を入れてあげて、影も作ってあげようか…」と集めている器の中の環境も整えてくれました。そうして自然と縦で繋がり合い、教えてもらった次の日から落ち葉を入れてあげたりして「お家作ってあげてるんだ」と教わったことを実践していました。また、お砂場で穴掘りをしてからそこへ水を貯めたり、穴掘りした土をお山にしたりしているお友だちもいて、楽しそうだからと自然に人が集まります。その空間では、誰と遊ぶのではなく、自分がしたい、興味がある遊びをしている場所にいつの間にか近くにお友だちがいるという感覚でしょう。1人で遊んだと思う事もあるかもしれないけれど、大きな穴掘りは協力しないと大変です。いつの日かに、力を合わせていたことに気がつき、友だちの存在に目をむけられるようになって欲しいと願っています。

さて、赤組になって2ヶ月が終わりました。環境ガラッと変わり、不安だった毎日から安定してきたように感じます。赤組になると新しいことが沢山増え、5月に入ると毎週のように新しいことが増えました。大きなことに「お当番活動」を開始しました。その日の赤組のリーダーで、様々なお仕事を担ってくれます。給食時に2階のお台所まで、お茶の入ったやかんと布巾や私のコップとお箸が乗っているおぼんを2人で取りに行くこと、そして机を布巾で拭くことをそれぞれの机の人に知らせて拭くこと、前に立ってお祈りの合図をしてから全体に声をかけること…など！食事の場面を切り取ってもこれだけあり「お当番さん、忙しいわ～」と言う子どもたち。けれどその表情は、決してネガティブではなく反対にやる気に満ち溢れ、楽しくて仕方がないといった表情で意気揚々としています。また、食後のうがいの開始しました。口の中の食べ物のカスを流し、虫歯予防のために…とお話しをしてやり方を伝えると、その日から上手に出来て

いました！このうがいは、歯磨きへと繋がっていきます。その「歯磨き」を6月4日の虫歯予防デーに合わせて6月3日より開始したいと考えています。子どもたちにも前の週に歯ブラシを持参することを伝えますので、ご準備よろしくお願い致します。まだまだ新しく取り組んでいることがあります、どれも最初の私のお話しは真剣に聞き、早くやりたい！と子どもたち。そしてどれも丁寧に真面目に取り組んでいる赤組さんです。ご家庭でもぜひお話を聞いてあげてくださいね。

今月は「七夕制作」が始まります。作り方を目で見て、耳で聴いて、指・手先をおおいに使って色々なお飾りを作ります。作る過程を楽しみ、こんなお飾りが出来た！と子どもたちと一緒に喜び合いたいと思います。

＜緑組＞

5月に記録的な大雨を降らした前線が去ったのち、本格的な梅雨の季節を迎えます。この先の夏の予報は去年並みの猛暑になるのだとか…。あの熱波を思い出すだけで、ただただ夏の遊びやプールを楽しめていた子ども感覚はそこにはなく、「はて、どうすれば灼熱の夏を乗り越えられるのか…」と考えてしまうこの頃です。とはいえ、緑組の子どもたちにとってはこれから迎える「夏」が、幼稚園生活最後でもあり、その過ごし方も来年の今頃には大きく変化していることでしょう。お忙しい中お越しくいただきました先日の個人懇談会にて、11人の子どもたちのご家庭での様子を伺い、それぞれが異なる環境下において、幼稚園生活を楽しみに過ごしてくれていることを、本当にありがたく、うれしく思いました。子どもたちが幼稚園を「楽しい」と思える気持ちの根底には、保護者の方々の幼稚園へのご理解とご協力があったのことと改めて御礼申し上げます。また、懇談の際にも「就学」についてお話をお聞かせいただきましたが、「就学」は子どもたちにとって大きな節目です。すでにその準備を始めておられるご家庭もあるかと思いますが今一度、子どもたちの生活習慣について、丁寧に見直し「生活習慣の自律・確立」を目指すことを意識したいと考えています。これもまた就学への必然だからです。個々の生活力を観察するうちに、ご家庭での様子が垣間見ることが多々あります。5歳児（6歳）は「生活習慣の自律・確立」の時期と言われています。簡単に言えば、衣服の着脱を自分で行い、畳むことができる / 食事のマナーやルールを守る（食具の使い分け・お箸が使える/食べこぼしの始末ができる） / 持ち物の片付け・管理 / 排泄の自立（大便の始末が出来る）など身の回りのことは大体一人で出来るといわれています。あくまで目安であり、個々の発達によりその目標は異なりますが、私の目から見ていて子どもたちは「自分のことは自分で出来つつある」と思っています。ただし…「最初（気づき）から最後まで、自分で…」であるかは疑問です。一番気になるのは「言われれば出来る」「言われたからする」そして、時間がかかるから…と「食べさせてもらう」「片付けがおおよそであっても気にならない」「必要なものが無くなれば自分でなんとかしなくても「誰か」がやってくれるのを待つ」という『困った生活習慣』です。

「なんでも自分で！」の2歳発達を経て「自分で出来る」を獲得したはず…できれば

「ママやって / お父さんやって」と、委ねる？甘える？のはそろそろお終いにして、正真正正の「自分で！」を身につけていかねばなりません！！目下、緑組は猛烈に「脱・困った習慣」キャンペーン中です。そのためにも、必要な「時制」という概念の獲得です。曜日や時間、数などの数え方（単位）、「大きい・小さい」などの比較概念への理解の深まりなど、知能面での発達も目覚ましいのが5歳児。「生活習慣の自立と時制の獲得」は今の緑組にとって必要な「生活の基本・土台」とお考え頂けると幸いです。一朝一夕では身につかないからこそ、10ヶ月先の「就学」に向けて大人が備えねば、苦労するのは子どもです。